

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	11 05 10	中期総合計画主要施策番号	-	担当課	部・課	建設部 河川課	
事業名	諏訪湖等管理事業				内線	3435	
					E-mail	kasen@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	諏訪湖の釜口水門等を適切に維持管理し、諏訪湖及び天竜川下流の災害防止、諏訪湖の観光・レジャー等の湖面利用や環境の保全を図る。					
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 適正な維持管理が実施されているが、住民の安全な生活と密接的な関係であるため、地域からの諏訪湖の水位等の管理、治水に対する要望は非常に強い。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 諏訪地域では平成18年7月の豪雨災害を受けて、治水に対する要望は一層強くなり、釜口水門の管理の重要性が再認識された。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 諏訪湖・天竜川の治水、利水の両面から釜口水門等の河川管理施設は適切な維持管理が必要である。また水門のゲートの再塗装などを周期的に行いゲートの長寿命化を図る必要がある。					
		事業内容	・釜口水門の管理(諏訪湖の水位、放流量の常時監視等) ・諏訪湖の浮遊物の除去 ・樋門・水門、排水機場の操作				
		実施期間	S63 ~	根拠法令等	河川法、諏訪湖釜口水門操作規則		
	成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価
釜口水門の適時・適切な維持管理を実施し、諏訪湖及び天竜川下流の災害防止と諏訪湖の環境保全・適切な水利用を図る。		常時、洪水時等に釜口水門が支障なく操作できるように適切な維持管理を実施する。		常時の水利用が確保され、洪水時等に適切な操作を実施することができ住民の安全を確保した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	60,025	56,925	57,038	国庫・県単 県単	
	決 算 額 (B)	千円	55,609	55,355		実施方法 直接・委託	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	0	0	0	歳出節別内訳等	
	概 算 人件費	人	3.00	3.00	3.00	・給料:13,104・職員手当等:8,409 ・旅費:28・需用費:7,806 ・役務費:369・委託料:23,870 ・使用料:259・工事請負費:1,418 ・負担金:65・補償金:2・公課費:25	
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	55,609	55,355	57,038	(単位:千円)	
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	釜口水門洪水警戒態勢勤務回数	日	26	41	41		
	諏訪湖周辺の浸水被害等発生件数	回	0	0	0		
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・水門・樋門管理の重要性について、平成18年7月豪雨災害を通じてその適正な運営・管理の必要性が再認識された。 ・施設について河川管理施設であり、管理者である県が行う。 ・天竜川の平成18年災害関連の工事が、平成22年度に完了することにあわせ、最大放流量400m ³ /sを430m ³ /sに見直す予定であり、当面見直しの余地はない。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括	適正な維持管理をするため、水門のゲートの再塗装を定期的実施する必要がある。					